

小学校卒業まで大切に保管し、
ご活用ください。

保存版

令和3年度 改訂

家庭学習の手引き

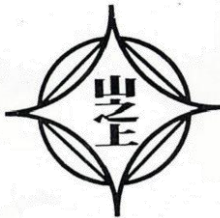


枚方市立山之上小学校

〒573-0047 枚方市山之上1丁目32番1号

電話 050-7102-9068

FAX 072-841-0369



「家庭学習の手引き」の見方

本校では、基礎的・基本的な知識や技能の定着とそれを活用する力を身につけ、学力が向上する事を目指して、日々の学習に取り組んでいます。そして、さらに自ら学習に取り組む力（自学自習力）を高め、意欲的に学習に取り組むことが大切であると考えています。

そのためには、ご家庭の協力が何よりも必要です。この、「家庭学習の手引き」を参考にして頂き、学校と手を取り合っってよりよい家庭学習の習慣がつかます事を願っております。

1 「家庭での生活を見直してみよう」

1年生から6年生まで、どの学年にも共通の生活習慣について書いています。

2 学年のページ

児童のみなさんへと**保護者の皆様へ**のページが見開きで書かれています。

児童のみなさんへのページの見方

子ども達のためのページです。家庭学習のしかたや内容、気をつけてほしい事などを書いています。

(1)家庭学習のしかた

学年ごとにどんな宿題が出ているかが、書かれています。それぞれの宿題のしかたや自主学習の取り組み（3～6年生）についても書いています。

(2)こんなことに気をつけよう

家庭学習をするときに、とくに気をつけてほしい事や注意する事などを書いています。

(3)こんな時には？

家で勉強していて、わからないときにどうすればいいかを書いています。

保護者の皆様へのページの見方

保護者の皆様に読んでいただきたいページです。宿題の内容や、家庭で協力していただきたい事を書いています。手元に置いて時々見ていただくとありがたいです。

(1)特にくりかえしが大切な内容

各学年の学習内容で、習熟するために特にくりかえし学習することが必要な内容を載せました。ここに書かれている事は、しっかり定着するまでくりかえし宿題に出しています。

(2)こんな宿題が出ています

各学年の宿題の内容や量などについて書かれています。それぞれの宿題のねらいについて触れています。普段はここに書かれている内容の宿題が出ますが、学習内容や単元に応じて宿題の形式や内容も変わってきますのでご了承ください。

(3)宿題の○つけやまちがい直しなどについて

学校で、宿題の○つけやまちがい直しをどのようにしているか等について書いています。

(4)お願い

家庭学習について、保護者の皆様に協力して頂きたいことについて書いています。

家庭学習のすすめ方

小学校低学年

☆学校の宿題のほかに短時間でできるものを組み合わせて、30分程度でできる内容を考えましょう。

- 国語** ひらがな・カタカナ練習、漢字練習、(絵)日記、教科書の音読、言葉あつめ、ワーク・ブック(府教育委員会作成)
- 算数** 十ます計算(P7参照)、二十ます計算、百ます計算(P7参照)、形づくり、大きさ・長さ調べ、ワーク・ブック
- その他** 授業の経験を生かした工作、鍵盤ハーモニカの練習、季節を見つける観察

学習時間の目安
30分程度

組み合わせ例

宿題(10分) + 音読(5分)



季節を見つける観察(15分)

小学校中学年

☆学校の宿題のほかに短時間でできるものとじっくり取り組むものを組み合わせて、50分程度でできる内容を考えましょう。

- 国語** 漢字練習、作文・日記、教科書の音読、国語辞典を使った意味調べ、ワーク・ブック
- 算数** 百ます計算、問題づくり、長さ・重さ調べ、面積・角度調べ、ワーク・ブック
- その他** 理科や社会の調べ学習、リコーダーの練習、観察、新聞のスクラップ

学習時間の目安
50分程度

組み合わせ例

宿題(20分) + 計算練習(5分)



作文・日記(25分)

小学校高学年

☆学校の宿題のほかにじっくり取り組むものを中心に、1時間20分程度で、できる内容を考えましょう。また、中学校に向けて、自分で計画的に学習できる力をつけることが大切です。

- 国語** 漢字練習、漢字調べ、作文・日記、辞典の活用、短歌・俳句づくり、読書感想文、ワーク・ブック
- 算数** 百ます計算、問題づくり、面積・体積調べ、立体の見取り図・展開図、ワーク・ブック
- その他** 理科や社会の調べ学習、リコーダーの練習、観察・実験のまとめ(考察)

学習時間の目安
1時間20分程度

組み合わせ例

宿題(20分) + 計算練習(15分)



漢字練習(15分)



ワーク・ブック(30分)

中学校

☆子ども自身が自分で学習内容を判断し、計画的に学習できることが大切です。

☆予習は授業中の理解を深め、復習は知識を定着させます。

- 全科**
 - 復習
 - 学習したことを、確認しながらもう一度ノートにまとめる。
 - 授業の中で間違えた問題をもう一度やってみる。
 - ワーク・ブックや問題集などで、学習した内容の類似問題をやってみる。
 - 予習
 - 次の日の学習を教科書を読んで確認する。
 - 熟語の意味や英単語などを辞書等で事前に調べておく。
 - 分かることと分からないことをノートに書き出す。
- その他**
 - 新聞やニュース等にも目を向け、世の中の動きをつかむ。
 - 古典や優れた文学作品等の読書に取り組む。

学習時間の目安
2時間程度



<大阪府教育委員会作成『保護者・地域とともに働く大阪の子どもの学力(リーフレット)』より>



【家庭での生活を見直しましょう】

規則正しい生活習慣は、健康の源であり、学力を支える柱です。

- ①眠る 睡眠には記憶を整理し定着させる働きがあります。睡眠不足になると授業に集中することができません。子どもには少なくとも8時間の睡眠が必要とされています。寝る時間や起きる時間を家庭で決め、「早寝・早起き」の習慣をつけさせていきましょう。
- ②食べる 規則正しい食生活が身につくようにしましょう。特に朝食は、午前中の脳と体の大切なエネルギー源となります。空腹では、授業に集中することができなくなります。朝食をきちんととる習慣をつけさせていきましょう。
- ③運動する 体力を養うため、体を動かす習慣をつけさせましょう。テレビゲームやパソコンなどが、子どもの生活や遊びの中に定着し、外で体を動かす時間が減少しています。外遊びをすすめるようお願いいたします。

読書をする習慣をつけましょう。

文章を読む力は学力の基礎です。本が好きになれば、言葉の力や理解力が身につきます。

- ①環境作り みんなが集まる部屋に、本や図鑑や辞書を置きましょう。本を読みたくなる環境を作り、大人が本や図鑑や辞書を読んだり使ったりする姿を見せてあげてください。
- ②図書館の利用 子どもを本好きにするには、子どもの周りにいつも本があり、読書を習慣づける事が大切です。本校では、20分休みや昼休みに図書室を開放・貸し出しも行っています。地域の図書館にも、積極的に立ち寄って、たくさん本に親しみましょう。
- ③親子で読書 難しい本を読ませようとせず、気長に見守り、子どもの興味のある本を自由に読ませてあげましょう。親子で一緒に読書する時間を作ってはどうか。低学年では、読み聞かせをすることもおすすめします。



自分から進んで勉強する習慣をつけましょう。

「宿題をきちんとすることができ、さらに自分の課題を自分で見つけ、一人で学ぶことができる力」を身につけよう。

①学習環境作り

1. 自分でできる目標と計画を立てましょう。

目標…一年間の目標や、今月の目標、今週の目標など自分の立てた計画に沿って実行し、達成する喜びを得る事が大切です。

計画…いつ・どこで・どのような内容か実現性のあるものを、具体的に考えましょう。

2. 自分の机の上や棚は、自分で整理しましょう。

②気持ち作り

「勉強は楽しい」「できるってうれしい」という気持ちで、次の学習への意欲につながります。「勉強ができない」「自分の力で何もできない」といったレッテルを貼らず、子どもが本来持っている「知りたい」気持ちを刺激しましょう。

できるだけ学年が進む前に、自分で学習する習慣を身に付けられるように、見守っていきましょう。

保護者の皆様の声かけや励ましは、子どもをやる気にさせます。

ルールを作り、点検をしましょう。

家庭で話し合い、子どもと約束してください。

①携帯の使用、PCや携帯電話のゲームへの依存、携帯電話やネットの有害サイトへのアクセスについて、保護者として管理をきちんとし子どもを守りましょう。

フィルタリングサービス（有害サイトアクセス制限）の利用もおすすめします。

②子どもの交友関係を把握し、健全な友人関係が保たれている事を確認する事は、保護者として大切なことです。いつも遊んでいる友だちや、その保護者の方とも交流することで、安心を得る事ができると考えます。また、帰宅時間や遊んでいる場所の把握にもつながります。

③持ち物の管理や把握をし、買い与えていない物が増えていないか見ていきましょう。いじめの早期発見や、万引きなどの防止のためにも、子どもの持ち物を見ていく事は大切です。物を大切にすることも同時に教えてください。

《 1 年生 》

じどうのみなさんへ



1. かていがくしゅうのしかた

(1) 本よみ

大きなこえで、はっきり、^{ただ}正しくよみましょう。

(2) こくご・さんすうプリント

①こくご

ア ひらがな（4^{がつ}月から）カタカナ（2^{がつ}学きから）をかこう。

イ ならったかん字をかこう（2^{がつ}学きから）

②さんすう

ア かずを しろ。

イ けいさんもんだい（たしざん・ひきざん）をしよう。

できたら、もういちど、見なおして こたえをたしかめよう。

ウ おはなしの もんだいを しよう。

しきと、こたえには、かならず『〇こ』などの めいすうをわすれないように しよう。

エ ながさ かたちなどの もんだいを しよう。

オ けいさんカード、けいさんプリントをつかって、くりかえし れんしゅうしよう。

(3) かん字ドリル（2^{がつ}学きから）

ていねいに れんしゅうしよう。

(4) そのた

けんばんハーモニカの れんしゅうをしよう。

2. こんなことにきをつけよう

☆「〇〇しながら」は、やめましょう。

たべながら、ききながら、見^みながら、しゃべりながら など。

☆なるべく いえにかえったら、すぐに しましゅう。

☆しせいや ^{ただ}正しい えんぴつの もち方に きを つけましょう。

☆おわったら、おうちの人に みてもらうように しましゅう。

☆見^みてもらったら、すぐにランドセルに ^い入れましょう。

3. こんなときには？

☆わからないときには、おうちの^{ひと}人に きくか つぎの^ひ日 ^{せんせい}先生に きくように しましゅう。

☆かえって ^{ひと}すぐできないばあいは、おうちの^{ひと}人と^{じかん}時間やばしよを はなしあつてきめましょう。

《 1 年生 》

保護者の皆様へ



1. 特に繰り返しが必要な学習

(1) 国語

ひらがな、カタカナ、漢字は、正しい書き順で繰り返し練習していきます。

(2) 算数

1年生で学習するたし算やひき算は、2年生からの計算の基礎となります。

1年生の終わりには、暗算ですらすらできるようになることを目標に、計算カードや宿題プリントで、繰り返し練習していきます。

2. こんな宿題が出ています

(1) 本読み

はっきり、ていねいに読む練習をします。

(2) 国語・算数プリント

国語：ひらがな、カタカナ、漢字、言葉の決まりを練習します。

算数：計算問題、文章問題、長さや大きい数など、今までに学習した内容の復習をします。

(3) 漢字ドリル（2学期から）

新出漢字を中心に、漢字ノートに練習します。

(4) その他（繰り返し練習することで定着していきます）

計算カード、計算プリント、鍵盤ハーモニカ、縄跳び、**タブレット学習**など

3. 宿題の〇つけやまちがい直しなどについて

(1) 担任が〇つけをして、まちがい直しをさせ、もう一度点検をして返します。

子ども達と一緒に〇つけをすることもあります。

(2) 特にまちがいが多い問題については、国語、算数の授業で復習していきます。

4. お願い

☆1年生の学習は、これからの学習の基礎になるものばかりです。

低学年で宿題をていねいにしてきた習慣が、高学年で子ども達の学習に生きていきます。しっかりと行き届いた学習を毎日繰り返ししていけるような関わりをお願いします。

☆親子で話し合った『宿題の約束』を守っていくようにすることが大切です。

ご家庭に合わせた「勉強時間」「勉強場所」で学習するようにしましょう。

☆『ながら勉強』をしない習慣をつけましょう。

テレビを消すこと、お菓子を食べながらしないことなど、学習に集中できる環境をつくるのが大切です。

☆見直しをし、ぜひ褒めてあげてください。

子ども達によって頑張り方も様々です。前日、間違っていたのに 今日是一人でできた、自分から進んでできた、最後まで丁寧にやり遂げたなど、一人ひとりに応じて、できたことを褒めてあげてください。保護者の方の励ましが、次の意欲につながります。

《 2 年生 》

じどうのみなさんへ



1. かてい学しゅうのしかた

(1) 国語・さんすうプリント

(2) かん字ノート・かん字ドリル

かん字ドリルを見て、ノートに下のようにしましょう。

・かん字のよみがなをつける。

(3) 音どく・九九（九九は2学きからはじまります）

・てんやまるに気をつけて、はっきりとよみましょう。

(4) 学しゅうする時間

家では、毎日30分をめやすに学習するようにしましょう。

（テレビをけして学しゅうしましょう）

2. こんなことに気をつけよう

★家の人とそうだんして、学しゅうするばしょ、学しゅうする時間をきちんときめましょう。

★しゅくだいがすんだら、すぐに時間わりを合わせて、しゅくだいをわすれずにランドセルに入れましょう。

3. こんなときには？

★しゅくだいプリントなどでわからないことが出てきたら

・まず、じ分でしらべてみましょう。

・それでもわからない場合は、おうちの人に聞くか、学校で先生に聞きましょう。

★体のちょう子がわるくて、しゅくだいができなかった時は、おうちの人にれんらくちょうで知らせてもらいましょう。

（お休みしているときなどは、むりしないでいいですよ）

《 2 年生 》

保護者の皆様へ



1. 特に繰り返しが必要な学習

(1) 国語

2年生の新出漢字は、1年生の倍の160字あります。習った漢字をしっかり覚え、使えるようにするために、漢字ドリルをノートに写したり、漢字プリントで定着を図ったりすることが大切です。

(2) 算数

繰り上がりのある足し算や、繰り下がりのある引き算をスムーズにするためには、1位数の暗算が大切です。

また、2年生で九九を学習しますが、九九はいくつになっても必要な計算です。暗記するだけでなく、立式の意味をしっかりとらえさせる必要があります。2学期には、おうちでも子どもさんが覚えるまでいっしょに聞いてあげてください。

2. こんな宿題が出ています（時間は30分程度を目安にしています）

(1) 計算練習（おもにドリル）

繰り返し練習することにより、定着を図っています。

(2) 漢字練習（おもにドリル）

繰り返し練習することにより、定着を図っています。

(3) 音読・九九（九九は2学期から）

声に出してスラスラ読めることが、国語の力の基本だと考えています。

九九はこれからの算数の学習に不可欠です。

(4) その他（繰り返し練習することで定着していきます）

なわとび、鍵盤ハーモニカ、タブレット学習など

3. 宿題の〇つけやまちがい直しなどについて

(1) プリントは、〇つけをし、間違い直しをして、その後担任が点検をして返しています。

(2) 間違いが多い問題や漢字については、授業の中で改めて復習し、理解を確かなものにするようにしています。

4. お願い

- ★ 家庭学習で少しでも良くなったところを誉めてあげてください。
- ★ ご家庭に合わせた「勉強時間」「勉強場所」で学習するようにしましょう。
- ★ 学習ができる環境作りにご協力下さい。（例：テレビを消す等）
- ★ 宿題をしたかどうか、やり忘れていないかどうかを見てください。
- ★ プリント類は、ご家庭で必ず目を通してください。
- ★ 家庭学習は、自分から進んで学習する力をつけるための第一歩です。習慣づけていけるようにご協力をお願いいたします。

《 3年生 》

児童のみなさんへ



1. 家庭学習のしかた

(1) 国語

- ① 漢字は、ドリルを見て正しい漢字を書きます。書くときは、その行の一番下のマスまで練習します。読みがなも、きちんと書きましょう。新出漢字の学習では、言葉集めや短文作りの宿題もあります。プリントで復習することもあります。
- ② 学習しているところを音読します。できるだけお家の方に聞いていただきましょう。

(2) 算数

計算や文章題に取り組みます。2年生までに習った問題や、今習っている問題もあります。

(3) 学習する時間

家では、毎日40分をめやすに学習するようにしましょう。

自主学習

- ☆ 算数の教科書の問題をノートにする。
- ☆ 自分の苦手な漢字や国語の教科書の後ろの漢字の練習をする。
- ☆ 理科や社会の予習や復習をする。
- ☆ 調べ学習

2. こんなことに気をつけよう

- ★ 漢字ノートなどでまちがいがあった場合は、かならずやり直しをしましょう。
- ★ 毎日決めた時刻に、決めた場所で、「ながら勉強」ではなく、集中して40分家庭学習をしましょう。
- ★ 家庭学習をする時刻は、それぞれの家でちがいます。さそいに行ったとき、もし友だちが勉強をしていたらせかしたりせず、勉強が終わってから遊びましょう。

3. こんなときには？

- ★ わからないときはそのままにしないで、辞書、教科書、ノートなどを見て調べましょう。それでもわからないときは、学校で先生に聞きましょう。

《 3 年生 》

保護者の皆様へ



1. 特に繰り返しが必要な学習

(1) 国語

新出漢字の量が多くなっています。漢字ノートやプリントで繰り返し学習していきます。

(2) 算数

計算や文章題に取り組みます。

計算領域では、たし算、ひき算、かけ算、わり算と四則計算をマスターします。2年生で学習した九九をしっかりと身につけておく必要があります。

長さや重さ、水の嵩^{かさ}などの単位、時刻と時間の学習もあります。

文章題では、かけ算、わり算で、「全部の量」「いくつ分」「1あたりの量」をしっかりと理解して解くことが、今後の文章題を解いていく上で重要になっていきます。

(3) 音楽

リコーダーの吹き方を初めて学習します。タンギングや指使いを繰り返し練習していきます。

2. こんな宿題が出ています

(1) 国語

① 漢字

3年生の漢字ドリルと漢字の学習から出しています。2年生までに習った漢字も復習のために出すこともあります。

② 本読み

内容理解の手段として、また文章のリズムを獲得するため、音読することを大切にしています。

(2) 算数

2年生で学習した内容、計算、文章題、今学習していることなどバランスを考えながら、また子どもたちがつまずきやすい事柄を重点的に出しています。

(3) その他（繰り返し練習することで定着していきます。）

なわとび、リコーダー、タブレット学習など

3. お願い

この手引きをご覧いただき、「決まった場所」で「決まった時刻」に学習させてください。また、何かをしながら学習することがないように、落ち着いた環境のもとで学習できるよう、環境づくりもよろしくお願いします。集中すればミスも減り、ていねいな学習ができます。

《 4 年生 》

児童のみなさんへ



1. 家庭学習のしかた

(1) 国語

- ① 漢字・・・漢字ドリルを見て、正しい漢字をていねいに書きます。
- ② 本読み・・・しっかり声を出して読み、気持ちをこめて、めあてをもって練習しましょう。

(2) 算数

計算、すでに習った問題や文章題、今習っている問題などを計算ドリル、プリントで学習します。

(3) 学習する時間

家では、毎日50分をめやすに学習するようにしましょう。

自主学習 こんなことをしては・・・

☆日々の基本学習の定着・・・音読、漢字学習、理科や社会のまとめなど

☆苦手な学習の定着・・・計算ドリル、教科書の復習

自分で課題を見つけて・・・調べ学習

2. こんなことに気をつけよう

- ★漢字ノートなどでまちがいがあった場合は、かならずやり直しをしましょう。
- ★毎日決めた時刻に、決めた場所で、「ながら勉強」ではなく、集中して50分程度の家庭学習をしましょう。
- ★家庭学習をする時刻は、それぞれの家庭でちがいます。さそいに行ったとき、もし友だちが勉強をしていたら、せかしたりせず、勉強が終わってから遊びましょう。

3. こんなときには？

わからないときは、そのままにしないで、辞書、教科書、ノートなどを見て調べましょう。

それでもわからないときは、学校で先生に聞きましょう。

《 4 年生 》

保護者の皆様へ



1. 特に繰り返しが大切な学習

(1) 国語

4年生では新出漢字の量が多いです。しっかりと覚えるために繰り返し学習していきます。

(2) 算数

小数や分数、角度や面積など、学習する内容がたくさんあります。しっかりと定着させるためには、くり返し練習問題を解いたり、生活と結びつけて考えさせたりしていくことも大切です。

2. こんな宿題が出ています

(1) プリント・ドリル・タブレット学習

算数の復習、漢字など、子どもたちの学習の様子を見て苦手な内容を中心にだしています。

(2) 本読み

「リズムよく読む。」「句読点（点や丸）に気をつける」「ていねいに読む。」に気をつけながら音読の練習をさせています。

(3) 以上のような内容で、4年生としては50分を目安に取り組んでいただければと思います。

3. 宿題の○つけやまちがい直しなどについて

間違えたところを把握することが苦手な課題の克服になります。

おうちでもプリントなどのチェックや声かけをお願いします。

4. お願い

この手引きをご覧いただき、「決まった場所」「決まった時刻」に学習させてください。また、「ながら勉強」ではなく、落ち着いた環境のもとで学習できるようよろしくお願いします。集中すればミスも減り、ていねいな学習ができます。

《 5 年生 》

児童のみなさんへ



1. 家庭学習のしかた

(1) 宿題プリント

(2) 国語

① 漢字

漢字ドリルを毎日、漢字ノートに練習する。

言葉の意味を調べたり、熟語を書いたりする。

② 本読み

正確に読んだり、気持ちをこめて読んだり、すらすらと読んだり、めあてを持って練習する。

③ 日記

(3) 算数・計算ドリル

今習っている練習問題などを繰り返し学習する。

(4) 学習する時間

家では、毎日1時間20分をめやすに学習するようにしよう！

自主学習　こんなことをしては・・・

- ☆ 国語 … 教科書の視写や本読み、漢字ドリルを使った読み書きをする。
- ☆ 算数 … 復習や今学習している内容の問題に取り組む。
- ☆ 社会 … 教科書、資料集、地図帳、自分で借りた本をまとめたり、授業のまとめをしたりする。国旗や産業について調べる。
- ☆ 理科 … 教科書をまとめたり、実験の復習をしたりする。
- ☆ 外国語…アルファベットを読んだり、書いたりする。へボン式ローマ字で名前を書くなど。

2. こんなことに気をつけよう

★ 毎日決めた時刻に、決めた場所で、「ながら勉強」ではなく、集中して50分以上家庭学習をしよう。

★ 自主学習には、目的を持って取り組もう！

- ① 毎日の学習の予習・復習
- ② 苦手な内容の定着
- ③ 興味のあることについて調べてまとめる

3. こんなときには？

わからない時にはそのままにしないで、教科書や国語辞典、ドリルなどで調べよう。またその習慣をつけよう。それでもわからない時は学校で先生に聞こう。

《 5 年生 》

保護者の皆様へ



1. 特に繰り返しが大切な学習

基礎的・基本的な内容を繰り返し学習することで、確かな学力の定着を図ります。特に、国語では漢字や4年生までに学習した言語事項や言葉のきまり、算数では小数や分数の計算などの学習が効果的です。毎日の宿題以外には読書や自主学習ノートを活用してください。

2. こんな宿題が出ています

(1) プリント・ドリル・タブレット学習

算数のすでに習った単元の復習、漢字熟語など子ども達の学習の様子を見て、苦手な内容を中心に出しています。

(2) 本読み

習っているところの音読を中心に、正確に読んだり気持ちをこめて読んだり、すらすら読んだり、めあてを持って読むようにしています。

(3) 自主学習

量や内容は問いませんが、自分で課題を見つけ、苦手なところを自分なりにめあてを持って、毎日取り組むように指導しています。

(4) 学習する時間

5年生としては1時間20分を目安に取り組んでいただければと思います。

3. 宿題の〇つけやまちがい直しなどについて

まちがえた所をしっかり直すことが、苦手な内容や課題の克服になります。「前はまちがえたけど、今度はできた!」という自信につながるよう、まちがい直しをていねいにさせていただきたいと考えています。

4. お願い

- ★ 「決まった時刻」に「決まった場所」で学習するようにしてください。
- ★ 「ながら勉強」をすることがないように、学習環境づくりにもご協力ください。

《 6 年生 》

児童のみなさんへ



1. 家庭学習のしかた

(1) 宿題・プリント・ドリル・タブレット学習

基本的な問題です。じっくり考えて答えましょう。

(2) 漢字

書き順、とめ、はらいなどに気をつけて、ていねいに書いて覚えましょう。

(3) 本読み

正確に読んだり、気持ちをこめて読んだり、すらすらと読んだり、めあてを持って練習する。本読みをすることで読書に親しむ。

(4) 算数

復習や今学習している内容にくり返し取り組む。

(5) 理科・社会

教科書の内容を、絵や図を使って自分でまとめる。

(6) 学習する時間

家では、毎日1時間20分をめやすに学習するようにしよう！

自主学习

☆算数問題集

☆歴史年表まとめ…歴史上のできごとや人物、文化などを歴史年表にまとめる。

☆理科のまとめ…教科書、ノートを見てまとめる。

☆四字熟語や今までに習った漢字の練習、ことわざなど

☆外国語…アルファベットを読み書きする。ヘボン式ローマ字で名前を書くなど。

2. こんなことに気をつけよう

☆自主学习には、目的を持って取り組みましょう！

○苦手なところを克服する。

○興味のあることについて調べて深める。

○学習したことを定着させる。

○「決まった場所で」「決めた時間帯で」「手の届くところに辞典を置いて」取り組みましょう。

3. こんなときには？

わからないときは、そのままにしないで、辞典、教科書、ノートを見て調べましょう。また、その習慣をつけましょう。それでもわからないときは、学校で先生に聞きましょう。

自主学习ノートには、自分なりのまとめ方をしましょう。ただし、見やすく、大切なことばや重要なことには色をつけるなどの工夫をしましょう。

《 6 年生 》

保護者の皆様へ



1. 特に繰り返しが大切な学習

算数では、分数や小数の計算、いろいろな公式、また国語では、漢字や熟語をしっかりと覚えてほしいと思います。

2. こんな宿題が出ています（時間は1時間を目安にしています）

（1）宿題の内容と量

宿題プリントと漢字の宿題は、基礎・基本の定着をねらいとしています。
学習時間は1時間20分を目安にしています。

（2）自主学習の内容について

自主学習の内容については個人によってちがってきますが、目的を持つことが大切なので、おうちでも相談ののってあげてください。

☆苦手なものを克服したい→計算、文章題、漢字、ローマ字などの問題

☆興味のあることを深めていきたい→図鑑、読み物、新聞などまとめ

☆学習したことを定着させたい→教科書やノート、プリントのまとめや繰り返し練習

3. 宿題の〇つけやまちがい直しなどについて

まちがえた所をしっかりと直すことが、苦手な内容や課題の克服になります。「前はまちがえたけど、今度はできた！」という自信につながるよう、まちがい直しをていねいにさせていただきたいと考えています。また、まちがい直しをしていないときは、声かけをお願いします。

4. お願い

★家庭学習は、最低でも1時間！

「決まった場所で」「決めた時間帯で」「手の届くところに辞書を置いて」
学習させてください。

★家庭学習は集中！

ご家庭の協力のもと、テレビを消して、落ち着いた雰囲気の中で学習させてください。

★家庭学習は自力学習（自学自習）への第一歩！

中学生に向けての準備期間です。自力学習の習慣をしっかりと身につけて、
中学校に進学してください。

子育てチェックシート

- 子どもの起床時間、就寝時間を知っている。
- 子どもに、朝食をとらせて登校させている。
- 子どもに、適度な運動をするように話している。
- 子どもに、家庭の仕事を分担して手伝わせている。
- テレビやゲーム、タブレット等は、家庭で話し合い、時間やルールを決めて利用させている。
- 携帯電話は、子どもと相談して適切な使用時間・使用場所を決めて利用させている。
- 子どもが約束やルールを守らなかった場合は、きちんと注意している。
- 子どもの良い所を見つけ、積極的にほめるように心がけている。
- 子どもと、夢や将来の目標について話をしている。
- 最後まであきらめず努力するように声をかけている。
- 子どもだけでなく、親も「おはよう」や「いただきます」等の挨拶をするように、心がけている。
- 子どもの意思を尊重し、自分で考え判断し行動する機会を増やしている。
- 自然体験や社会体験に積極的に取り組ませている。